

平成24年3月定例議会

一般質問

(3月12日)

★津山産業・流通センター(鏡野エリア)の企業誘致の今後について。

現在誘致促進を積極的に推進しており、今後具体的な話が提示された中で、町にとって最も有益なる方向を見定めていきます。

★ロタウイルスワクチン予防接種費用の一部助成を。

子育て支援の充実を重点施策に掲げており、乳幼児の感染病予防は重要な課題と考えています。しかし、現在町内の医療機関では積極的に取り組んでいるところはなく、今後医師会のご意見もいただきながら、補助制度について検討していきます。

★中学校の武道の必修化における取り組み方針と安全面の配慮について。

平成24年度より新学習指導要領により、中学校の保健体育の授業の中で我が国の固有の運動文化である武道が必修化されます。鏡野中学校では柔道、奥津中学校と富中学校では剣道、上齋原中学校では相撲に取り組みます。

武道の伝統的な考え方を理解させ、基本動作を学習しますが、特に柔道は、基礎をおこなえば、重大な事故に繋がりにかからないため、県教育委員会が開催する講習会に参加するなど、安全面の強化を図っています。

そのほかの武道につきましても、指導教本、学習資料を活用し、安全対策に努めたいと考えています。

★学校給食がどのように行われているのか。食育と町内産の食材について。

岡山県食育推進計画に基づき、着実かつ具体的に推進しています。各小・中学校での独自の給食感謝会の開催や、郷土料理である鏡野おこわや紫黒米ご飯、ヒラメの唐揚げなど、地元の特産品をメニューに取り入れています。

食材については、季節によって野菜等の高騰により全品鏡野町産というわけにはいきませんが、基本的には、地産地消を念頭に使用するよう努力しています。

★苦田ダムの特定制放流の経緯について。

国土交通省中国整備局が岡山県知事からの要請を受けまして、吉井川水系水利用協議会へ要請し、会員合意の中、緊急放流が行われています。

★美作国建国1300年記念事業への取り組みは。

平成24年度はプレ事業として開会式、オープニング

セレモニー等を予定し、25年度で、記念事業を展開する予定です。

★職員給与について、国家公務員の給与を削減する臨時特例法が国会で成立したが、どのように対応するのか。

本町では、人事院勧告の改定にもなっており、1月より減額実施しています。臨時特例に関しては、全国の動向、県下の状況をみて検討します。

★原動機付き自転車のナンバープレートについて、町独自のナンバープレートを交付し、観光振興や、PRに役立ててみては。

プレート自体は無料交付で、作成に伴う費用も町で全額負担をしています。今のところ財政難のおりでご当地プレートの導入は考えていませんが、検討してみます。

★恩原ダムが満水るとき決壊した場合、下流域はどの程度まで、浸水が予想されるのか。

管理者である中国電力の

回答は国の基準に伴い、補強工事がなされているというものでありましたので、安全性の確保についてお願いしたものです。

浸水区域の想定には専門的な知識をもちまして、手間と経費をかけて行う必要があります。

今後必要な情報の提供、更には、自主防災組織の結成、訓練等の手伝いも積極的に行いたいと考えています。

★当初予算及び施政の総括について。

平成24年の鏡野町経営方針は、重点施策として、雇用・定住化の促進、住民のまちづくり、循環型社会の形成、地域情報化の推進を設定しています。さらに、消防防災対策の推進、公共交通機関の充実、子育て支援対策を重点施策としています。

★原発ゼロに対する見解は。

日本のエネルギー施策は、いまだ目標を失ったままです。安全性の確立が緊急課題であることは確かだと言